

経済動向調査のまとめ

令和6年度 第2四半期 (7月~9月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和6年10月22日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状 (良い-悪い) 構成比 (%ポイント)

区分	R5.12	R6.3	R6.6	R6.9	R6.12(予測)
全産業	18	14	15	14	10
大企業	24	19	16	17	16
中堅企業	18	10	17	14	9
中小企業	15	14	14	13	9
うち製造業	13	9	9	5	6
うち非製造業	23	21	23	25	16

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、コロナ禍以降のピーク圏内で推移している。先行きは慎重な見方となっている。

② 需要

項目	R4年度	R5年度	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
商業販売額:億円	18,529	19,168	1,536	1,589	1,628	1,733	1,702
(前年度比増減率%)	(+ 2.8)	(+ 3.4)	(+ 1.3)	(+ 1.4)	(+ 5.5)	(+ 1.3)	(+ 5.4)
乗用車販売台数:台	144,966	156,197	10,503	10,871	13,013	13,980	11,918
(前年度比増減率%)	(+ 2.4)	(+ 7.7)	(▲11.5)	(▲5.1)	(▲4.2)	(+8.9)	(+6.0)
新設住宅着工戸数:戸	31,911	28,622	2,422	1,906	2,438	2,389	1,782
(前年度比増減率%)	(+ 6.9)	(▲10.2)	(▲ 9.8)	(▲ 19.8)	(+ 11.8)	(+ 0.9)	(▲ 36.3)
神戸港輸出額:億円	73,695	75,219	5,911	5,804	6,436	6,440	5,922
(前年度比増減率%)	(+ 19.8)	(+ 2.1)	(▲7.3)	(+5.8)	(▲0.8)	(▲0.3)	(▲2.4)

出所：商業動態統計 (経済産業省)、新車登録速報 (日本自動車販売協会連合会兵庫支部)、軽自動車新車届出状況 (兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計 (国土交通省)、神戸港貿易概況 (神戸税関) (商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	1.2	▲ 4.5	9.3	2.6	16.7
(R2年度比:R2=100)	(100.0)	(95.5)	(104.4)	(107.1)	(125.0)

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加計画にある。

③ 生産

項目	R4年度	R5年度	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
鉱工業指数:R2=100	101.8	96.9	99.0	90.5	95.2	94.6	99.8
(前月比増減率%)	(+ 0.4)	(▲ 4.8)	(+ 2.1)	(▲ 8.6)	(+ 5.2)	(▲ 0.6)	(+ 5.5)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較

出所：兵庫県鉱工業指数（県統計課）

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。

④ 雇用

項目	R4年度	R5年度	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
有効求人倍率(季節調整値):倍	1.03	1.02	1.01	0.99	0.97	1.01	1.02
新規求人数(原数値):人	29,795	28,838	27,599	26,041	26,766	29,461	25,906
(前年度比増減率%)	(+ 5.5)	(▲ 3.2)	(▲ 4.2)	(▲ 0.7)	(▲ 8.6)	(+2.0)	(▲ 3.0)
雇用者所得計:億円	5,510	5,719	5,070	5,042	8,498	6,631	-
(前年度比増減率%)	(+ 3.2)	(+ 3.8)	(+ 1.6)	(▲ 1.5)	(+ 7.9)	(+ 0.6)	(-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所：一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

⑤ 金融

項目	R4年度	R5年度	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
企業倒産件数:件	368	568	48	51	51	40	34
(前年度比増減率%)	(+11.9)	(+54.4)	(+6.7)	(+4.1)	(+59.4)	(▲11.1)	(▲29.2)
企業倒産負債総額:億円	649	6,808	37	28	31	29	13
(前年度比増減率%)	(+120.5)	(+948.6)	(▲94.2)	(▲5.1)	(+308.9)	(▲27.7)	(▲99.8)

出所：兵庫県企業倒産状況（東京商工リサーチ神戸支店）

倒産件数は、このところ増勢が鈍化している。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

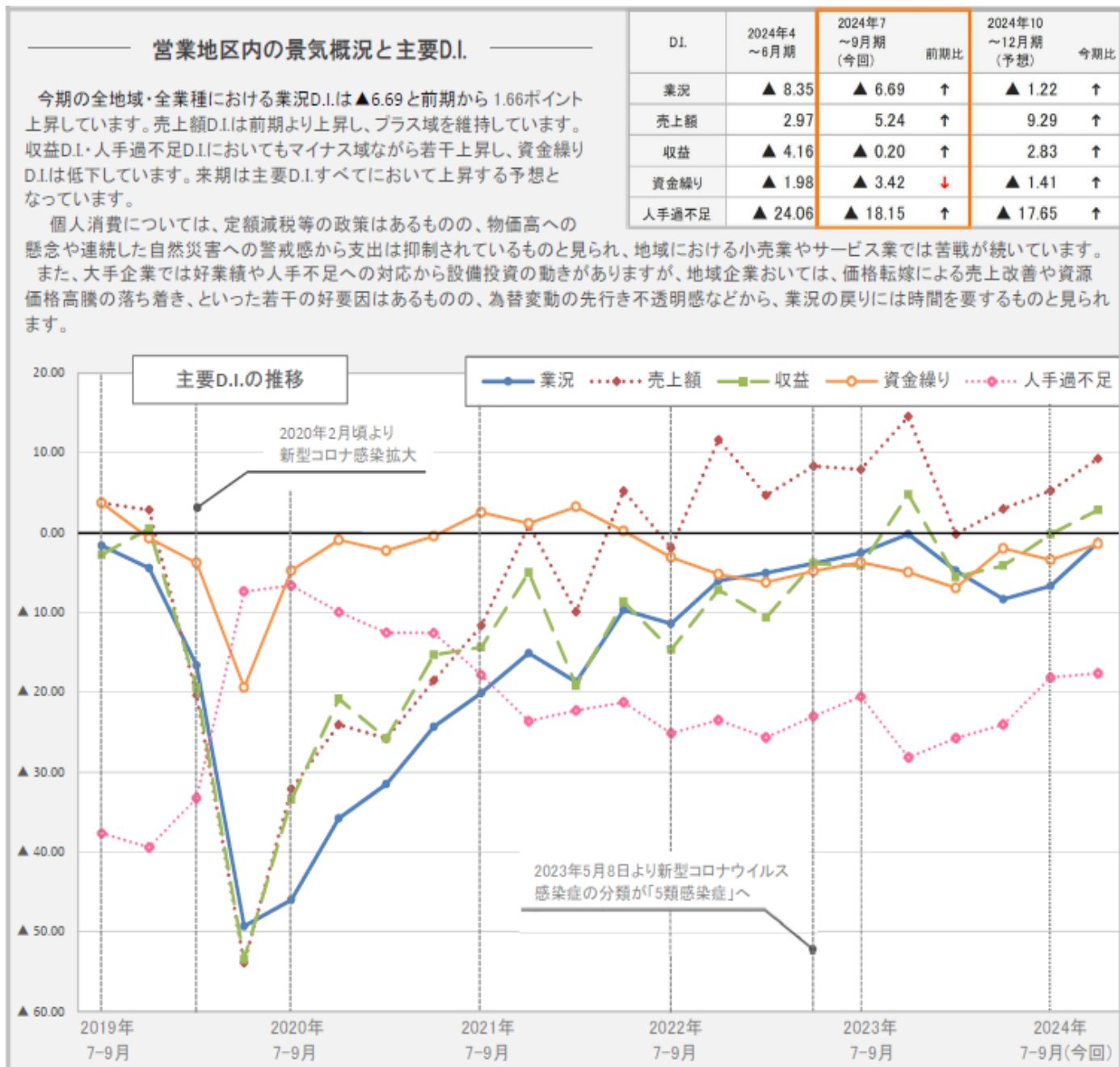
こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

（令和6年10月16日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」）

1. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2024年 7~9月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

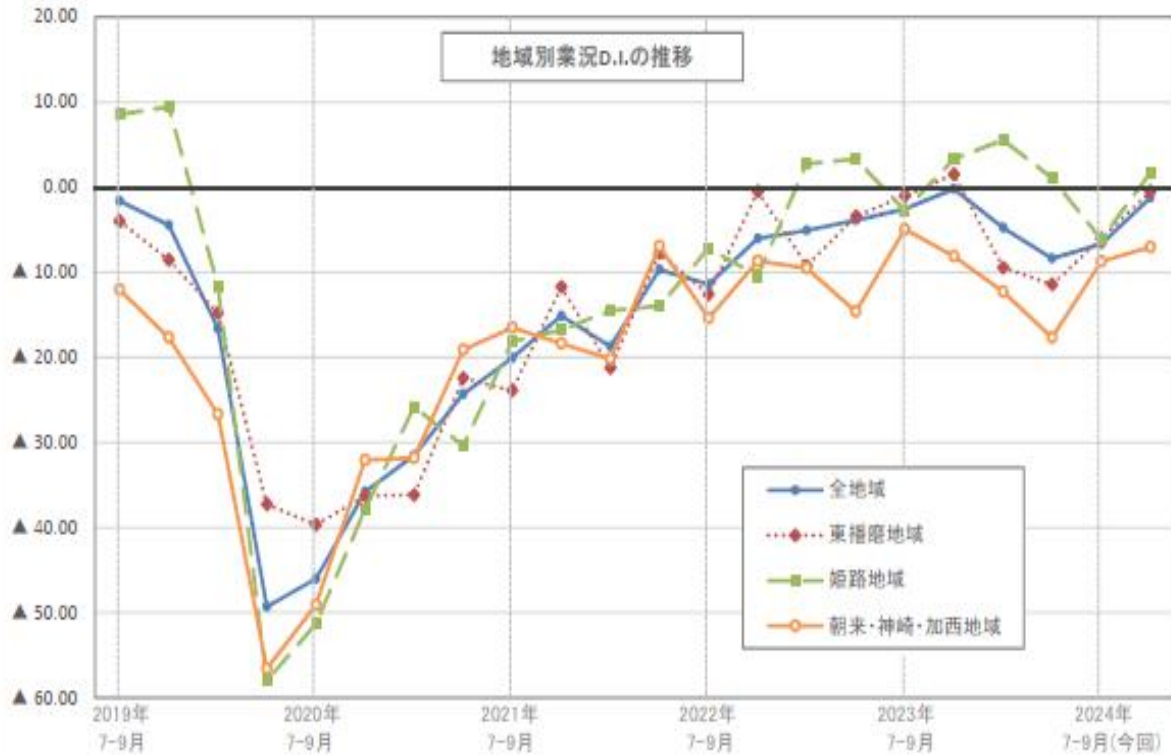


(回答企業 498社) (回答率 97.5%)

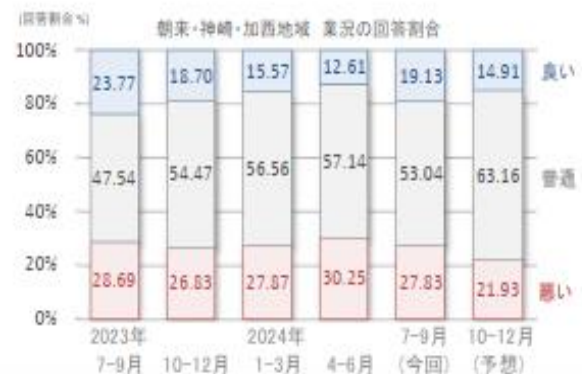
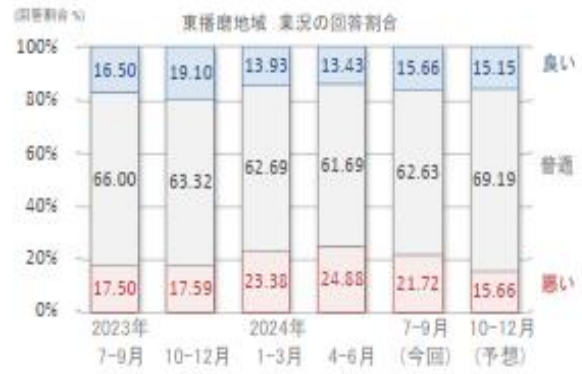
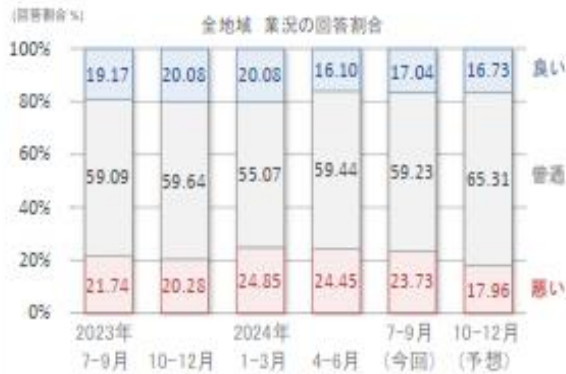
営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が ▲6.06 と 5.38 ポイント上昇、姫路地域が ▲6.11 と 7.20 ポイント低下、朝来・神崎・加西地域は▲8.70 と 8.95 ポイント上昇しています。来期は全地域・各地域において上昇する予想となっています。

地域	調査数	2024年4～6月期	2024年7～9月期(今回)	前月比	2024年10～12月期(予想)	今期比
全地域	498	▲ 8.35	▲ 6.06 ↑	▲ 1.22 ↑		
東播磨地域	200	▲ 11.44	▲ 6.06 ↑	▲ 0.51 ↑		
姫路地域	181	1.09	▲ 6.11 ↓	1.89 ↑		
朝来・神崎・加西地域	117	▲ 17.65	▲ 8.70 ↑	▲ 7.02 ↑		



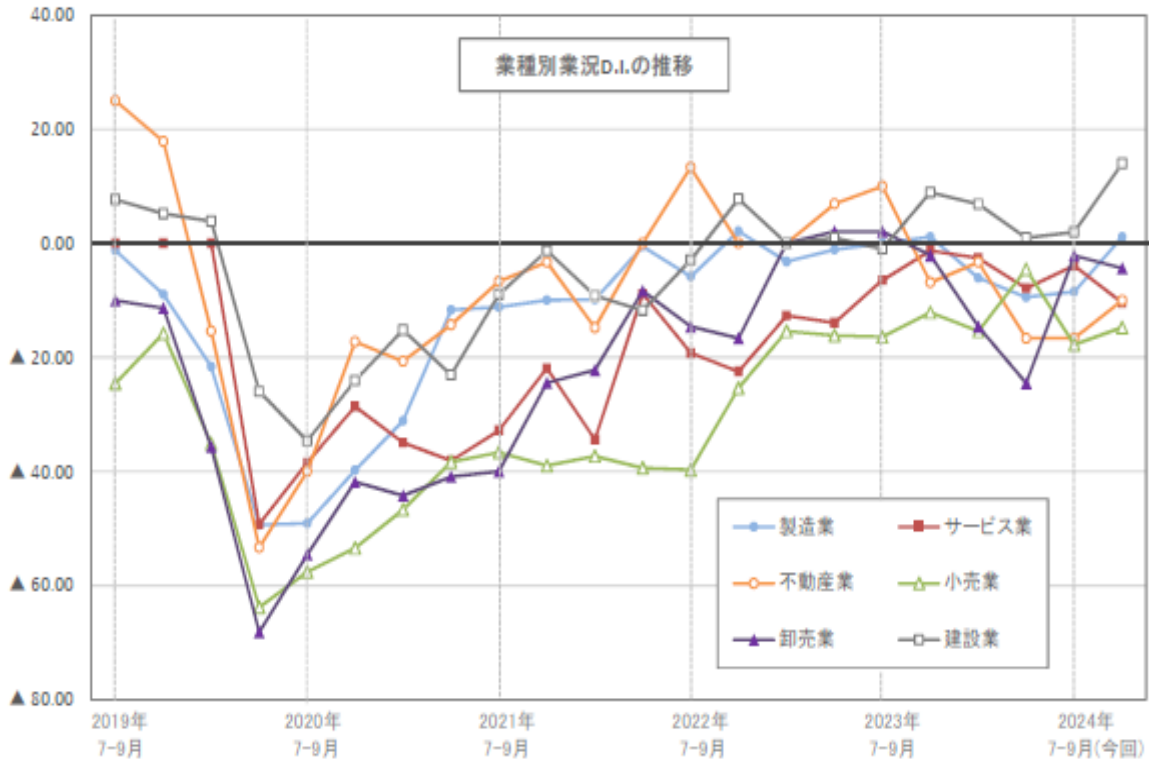
地域別業況D.I.の回答割合



営業地区内業種別業況D.I.

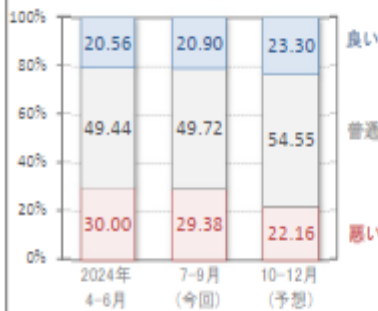
業種別では、製造業・サービス業・卸売業・建設業が前期から上昇し、不動産業は横ばい、小売業は低下しています。来期は、製造業・不動産業・小売業・建設業が上昇、サービス業・卸売業が低下する予想となっています。

業種	2024年4～6月期	2024年7～9月期(今回)	前期比	2024年10～12月期(予想)	今期比
製造業	▲ 9.44	▲ 8.47	↑	1.14	↑
サービス業	▲ 7.89	▲ 3.90	↑	▲ 10.39	↓
不動産業	▲ 16.67	▲ 16.67	→	▲ 10.00	↑
小売業	▲ 4.55	▲ 17.74	↓	▲ 14.75	↑
卸売業	▲ 24.49	▲ 2.13	↑	▲ 4.35	↓
建設業	0.98	2.00	↑	14.00	↑

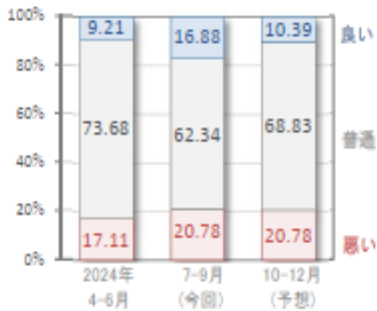


業種別業況D.I.の回答割合

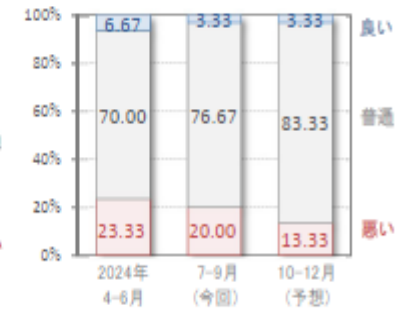
(回答割合) 製造業 業況回答割合



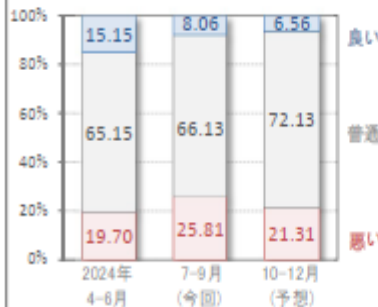
(回答割合) サービス業 業況回答割合



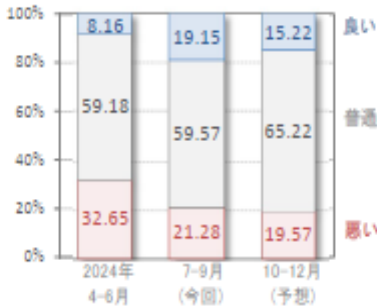
(回答割合) 不動産業 業況回答割合



(回答割合) 小売業 業況回答割合



(回答割合) 卸売業 業況回答割合



(回答割合) 建設業 業況回答割合

